

救命救急法講習会



令和6年6月18日（火）附属小学校体育館

日本赤十字社の救急法指導員の方をお迎えして、救命救急法講習会を開催しました。
たくさんの保護者の方々に参加していただき、今年はモデル機を使用しての心肺蘇生法と AED の使い方を中心に講習を受けました。

指導員から、モデル機を実際使用しながらの説明を受け、一人ずつ体験しました。

参加者からのたくさんの質問にも丁寧にお答えいただき、和やかな雰囲気の中でしっかりと学ぶことができました。

モデル機はこのような感じ
です。

胸骨圧迫がとにかく
大事です。圧迫点を
確認してリズムカルに
しっかり行います。



《参加者からのご意見》

- ・正しい知識を持つことで、助ける勇気を持てることにつながれば人命救助に役立つと思いました。みなさんにももっと伝わればいいな。と思いました。
- ・救命処置の一連の流れと AED に実際に触れ使い方を知ることができ大変勉強になりました。定期的に講習を受け、いざという時に誰かの役に立つ準備はしておこうと思いました。ありがとうございました。
- ・実際、このような現場に居合わせた時に声をかけると思うと勇気が出なかったですが、講習を受けてまず声をかけて、応援を呼ぶ。そして自分ができることを流れで知ることが出来ました。とても勉強になりました。
- ・以前も AED 講習を受けましたが忘れていることも多く、このような機会は改めて貴重だと思いました。今回で自信がついたので、何かあった際には率先して対応にあたりたいと思います。

参加された皆さまには大変好評をいただきました。実際に体験することで、見ているだけではなく勇気を持って行動に移すことが大切だと教えていただきました。そのためにも、救命救急法を定期的に受講することが大切です。家庭教育部では、毎年この時期に救命救急法講習会を開催しています。来年度もたくさんの方のご参加をお待ちしています。